

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	令和8年度 第1回芦屋市公民館運営審議会
日時	令和8年8月20日（木） 13:30 ～ 15:00
場所	市民センター201・202室
出席者	委員長 今西 幸蔵 副委員長 西本 望 委員 多田 直弘 岸岡 文子 越智 高敏 横田 薫
事務局	国際文化推進担当部長 伊藤 浩一 国際文化推進室長 田嶋 修 公民館長 大久保 瑞穂 公民館管理係長 岡本 祐子 公民館講座等事業受託者（河内厚郎事務所） 代表取締役 河内 厚朗 業務従事責任者 蓮沼 純一 社会教育主事 藤本 隆 長谷川 壮
会議の公開	■ 公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1) 部長挨拶
- (2) 委員長挨拶
- (3) 審議会成立の確認・傍聴者の確認
- (4) 議第 報告事項 令和8年度 芦屋川カレッジ及び大学院、春・夏の公民館講座等の実施状況について
協議事項 令和8年度 秋・冬の公民館講座等の実施予定について

2 提出資料 令和8年度 第1回公民館運営審議会資料

3 審議内容

報告事項

令和8年度 芦屋川カレッジ及び大学院、春・夏の公民館講座等の実施状況について

【事務局：蓮沼】資料の説明

【越智委員】

まず、夏休みこども教室の周知方法についてお聞きします。我々芦屋川カレッジの学友会メンバーも、「絵手紙を書いてみよう」、「水彩画教室」を毎年お手伝いしているのですが、今年は参加者が少なかったように思います。先生方の働き方改革のために、昨年度とは違って、今年は、電子媒体（ミマモルメ）で1回のみ配信になったことが、保護者の方への周知が行き届かなかった原因ではないかと思いますがそのあたりについて教えてください。

次に、56歳以上60歳で、カレッジに入られた方は何名おられたのでしょうか。

【事務局：蓮沼】

5名です。

【越智委員】

ありがとうございます。あと、これは私がこれまでいろいろとカレッジの取組みや公民館運営委員をさせていただく中で感じていることなのですが、カレッジと公民館の連携がもっと出来たらと感じています。以上です。

【今西委員長】

ありがとうございます。まず、夏休みこども教室の周知方法について事務局から何かありますでしょうか。

【事務局：蓮沼】

はい。まず、各学校にポスターを掲示していただくことにしております。あとは市内の掲示板への掲示、チラシを集会所等へ配架、ミマホルメの活用等を考えております。

【今西委員長】

情報伝達はとても大事だと思います。デジタルだけでなく多様な方法で工夫していただけたらと思います。あとは、芦屋川カレッジについてですが、越智先生いかがでしょう。回答等は不要でしょうか。

【越智委員】

はい、大丈夫です。出身母体として、これからも公民館事業をバックアップしていきたいと考えています。

【今西委員長】

やはり公民館事業の核になるのは芦屋川カレッジだと思います。ここは大事なポイントなので、今後もさらに発展していただけたらと思います。他の先生方ご意見はありますか。

【岸岡委員】

先ほどのお話で、夏休みこども教室の参加者が減ったとありましたが、どのくらい減ったのでしょうか。

【事務局：蓮沼】

半分くらいに減りました。

【岸岡委員】

ミマホルメでの配信以外で、市のウェブサイト等には掲載されたのでしょうか。

【事務局：蓮沼】

公民館のウェブサイトに掲載いたしました。

【事務局：大久保】

市長のインスタグラムにも掲載していただきました。

【西本副委員長】

この件について、小学校の先生からもひとこといただけたらと思うのですがいかがでしょう。

【横田委員】

業務改善の点から、プリントの配布は極力無くしているのが現状です。ただ、ミマホルメだけでは情報伝達が不十分な面もありますので、内容によっては、紙資料での配布も併用しています。ただ、各学校の考え方もいろいろなので、そのあたりの対応は難しいです。ただ、実際にこどもの目にふれることも大事なのかなと思います。紙資料を目にすれば、行ってみたいと思うかもしれませんし、ミマホルメだと、どうしても保護者の方向けに限られてしまいます。ミマホルメも学校や教育委員会、社会教育等多方面からたくさんの情報がいっきに送られてくるので、そのあたりはミマホルメの整理は必要ではないかと思いますので、委員会に私から意見を言うようにしたいと思います。

【事務局：大久保】

我々の方も、学校教育の方に何か出来ることはないか、相談をしながら進めていきたい

と思います。

【今西委員長】

とても難しい問題だと思います。ある自治体では、社会教育に関する資料を配布するのは、働き方改革の観点から反するという判断をされた自治体があるような話も聞いておりますが、こどもの教育という大事な観点からみれば、目標は同じところにつながっていると思うので、何とか乗り越えていけたらと思います。

【多田委員】

兵庫県身体障がい者社会学級事業についてお聞きします。様々な事業を実施されておられますが、そういった情報は市の広報や社協が発行する情報誌には掲載されていないように思います。その情報は対象となる方たちに100%届いていると考えていいのでしょうか。

【事務局：蓮沼】

視覚障害者の協会に登録されている方には100%届くようになっておりますが、登録されていない方にはなかなか難しい状況です。

【多田委員】

そういった方のリストというのは作られているとは思いますが、非常に秘匿性の高い個人情報扱いで、共有されていないと思います。ですが、その方たちの中で、知りたかったのと思われるケースがあれば、非常に残念だと思います。プライバシーの保護と情報伝達の促進には色々な壁があると思いますので、いろいろ努力されているのではないかと思います。そのあたりはいかがでしょう。

【事務局：蓮沼】

ご指摘のとおりで、そういったリストは我々には共有されないもので、よりたくさんの対象の方に情報をお伝えしたいと思っているのですが難しいです。このことは、本市だけでなく3市共通の課題で、いろいろと協議はしておりますが、難しいのが現状です。

【今西委員長】

とても大事な課題だと思いますので、ひきつづきよろしくお願いします。

【横田委員】

芦屋川カレッジについてですが、とても素晴らしい取り組みだと思いました。特に午後の選択コースなどは、国立文学劇場の体験やゼミ形式での実施、仲間との交流体験など、今まさに学校現場でも、一斉型の授業だけでなく、こどもたちの個別具体的な学びや共同学習を重視していく流れになっていて、2030年の学習指導要領の改訂でも、長期の論点整理のなかで、探求と対話を重視しており、まさにそのあたりを見通されて実施されているのだと思うのですが、対話を重視されて講座を開かれているのは、すごく意義があると思いました。

次に、夏休みこども教室ですが、運営の方で、いろいろな方や地域の方とこども達に関わる機会を作って下さっていることは、とても意義があると思います。学校の中では、同じクラスや同じ学年のなかのやりとりが多いなかで、地域の方や、カレッジのような保護者以外の地域の大人の方と接する機会は大変だと思いますし、そこを運営の方で大事にされているのはすごくいいことだと思いました。

【今西委員長】

探究と対話はとても大事ですね。共創という言葉がありますが、社会教育を考えていく中で、非常に重要だと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

それでは、次の議題の説明を事務局からお願いします。

協議事項

令和8年度 秋・冬の公民館講座等の実施予定について

【事務局：蓮沼】資料の説明

【今西委員長】

公民館は単なるカルチャーセンターではないということが大事なところですよ。公民館事業が目標とするのは、芦屋市の発展、まちづくりにつなげることだと思います。そして、そのための大きな枠組みを作る必要があります。例えば、ロジックモデルなんかを活用しながら評価の仕組みをうまく作ればつながっていくと思いますので、ご検討ください。

【横田委員】

小学校でも学んだことを次にどう生かしていくか、自分の生活や地域にどうやって返していくのかということを終着点にしています。学ぶだけで終わるのは本当の学びではないと思っていて、どれだけ自分事としてとらえてどういうふうに生かしていくのかということ、小学校でもテーマになりつつあって、そういった単元やカリキュラムをできるだけ作ってこうと考えているので、共通することがすごく多いと感じました。そういうふうな小学生を育てていくなかで、将来大人になって、芦屋川カレッジに参加した際に、自分の学んだことを地域に返したり自分の生活に生かせるということに長い目でみたら繋げていけたらと思いますので、まさに生涯学習だと思います。

【多田委員】

教育というのは大事だと思いますが、難しい方に持っていくのではなくて、例えば、私は公演等を聞いた後は、なんとなく豊かになった気持ちがするので、勉強したりいろんな学習を得ることで、間違いなく自分が豊かになったと感じるので、難しく考えなくても、それだけでもいいのではないかと思います。

【事務局：蓮沼】

もちろん、そういった部分を否定するのではなく、それも大事だと考えています。

【今西委員長】

自己実現ということも、すごく大きなことだと思います。学びの成果を自覚することはすごく大切なことです。それと同時に、学びっぱなしで終わらない、学んだあとに振り返りをきちんとやっていくことを集積していくことが大事だと思います。

【多田委員】

「講演会・公開セミナー」の中に、ごみの分別や減量をテーマにした講座が記載されていますが、こういった内容の講座が開催されるのは初めてではないでしょうか。今、日本全体でごみに関する問題がありますので、こういったテーマの講座はもっと開催して欲しいと思います。

【西本副委員長】

講座の中で、いつも定員を満たしていない講座がありますが、内容としては非常に重要なものがあって、それを今回も継続してくださるのは非常にありがたいと思います。こういった定員に満たない講座に対して、市からの補助金等は出ているのでしょうか。

【事務局：蓮沼】

すべての講座が、市からの指示があって開催しているものになりますので、定員を満たす満たさないにかかわらず、十分開催の意義を認めていただいているものになっておりま

す。

【今西委員長】

関係者の方々のご苦勞に厚く感謝申し上げたいと思います。これ以外で委員の皆様からご意見等ありましたらお願いします。

【越智委員】

最後に、芦屋川カレッジについてですが、今年で40周年を迎えます。9月、12月、3月に開催するホール事業についてご案内させていただきます。

～芦屋川カレッジが今年度、ホールで主催するイベントについて説明～

【今西委員長】

ありがとうございます。先生方から闊達なご意見をいただきましたことにお礼申し上げます。社会教育施設としての公民館は、非常に重要な活動なので、今後とも円滑に運営していただき、住民のニーズを満足させていただきたいと思います。以上をもちまして本日の議事を全て終了といたします。ありがとうございました。

4 閉会